



ARRI

最新ARRIキットを最大限に活用するための

# ARRIライティングハンドブック

by Bill Holshevnikoff

## ARRIライティングハンドブック

## 第4版ハンドブック・イメージ&amp;テキスト© 2016

Bill Holshevnikoff

## ハンドブック・デザイン&amp;製作

Spencer Nilsen (www.illuminastudios.com)

and Bill Holshevnikoff

(www.videolightingtechniques.com,

www.poweroflighting.com)

## プロデューサー - 動画製作

Christian Burton

## 表紙写真

Lindsay Elston

## ARRI Inc.

617 Route 303, Blauvelt, NY 10913

Tel: +1 845 353 1400 Fax: +1 845 425 1250

600 North Victory Blvd., Burbank, CA 91502

Tel: +1 818 841 7070 Fax: +1 818 848 4028

lighting-info@arri.com

www.arri.com

## 目次

第1章 - ライティングの理論とテクニック	4	影	16
はじめに	4	影エッジトランスファー	17
光源の選択	4	鏡面エッジトランスファー	17
光質	5	全般的な法則	17
ハードライトvs.ソフトライト	7	<b>第3章 - 新たな照明技術</b>	<b>18</b>
光源の明るさ	9	HMI®テクノロジー	18
色について	10	125 PocketPAR	19
<b>第2章 - 基本定義</b>	<b>12</b>	200 & 400 PocketPAR	19
キーライト	12	LEDテクノロジー	20
フィルライト	13	LシリーズLEDフレネルライト	21
セパレーション (ヘア) ライト	14	SkyPanel	22
背景ライト	15	<b>第4章 - ライティング・ショーケース</b>	<b>24</b>
立体的コントラストの要素	16	<b>第5章 - 拠点および連絡先</b>	<b>50</b>
ディフューズドバリュー	16	<b>第6章 - 注釈</b>	<b>54</b>
鏡面ハイライト	16		

## ライティングの理論とテクニック

### はじめに

この数十年の間に、インタビュー、トーク番組、ドラマ、その他のさまざまな制作に適した『標準的な』照明セットアップについて述べた無数の本が発行されてきました。

このハンドブックは、最新のARRIライティング・キットをロケーションやスタジオ撮影で使用するユーザーをサポートし、最高の映像を作り出す手助けをすることを目的としています。



ARRILITE オープンフェイス

### 光源の選択

初代のARRIキットにはさまざまなタイプの灯体が含まれていました。その中でも主軸だったのはタングステンライトを使用したオープンフェイスとフレネル灯体でした。これらの光源は今でも入手可能で、フォーカス機能を備え、多彩な光のバリエーションとムードを生み出すことができる均一な光を提供します。

時は流れ、現在のARRIライティング・キットが提供するの  
は、広範な色彩を誇るフレネルとソフトライトを始めとしたLEDライトのフルラインアップです。



ARRI L7-C LED フレネル

### 光質

光質の特性は、灯体が生み出す影の『硬さ』や『柔らかさ』によって表されます。光質を決定するのは、明るさではなく光源の物理的サイズです。一般的には、光源のサイズが大きく拡散度が高いほど、光質は柔らかくなります。フロストやシルクなどの拡散素材をライトのフロント部に装着すると、光源の物理的サイズが大きくなります。



フロストを装着したARRILITE

光が伝わる時に拡散素材を通過すると、光が当たった拡散素材が光源として機能します。太陽の光の影のようなシャープではっきりとしたシャドウエッジ（＝硬い光）は、このキットに含まれるような小型の光源から生み出されます。

一方、曇りの日の影のようにソフトでぼやけたシャドウエッジ（＝柔らかい光）は、ライトバンク（一部のARRIキットに含まれる）のような、より大型の拡散



キメラ社ライトバンクを装着したARRILITE

## 光質 (続き)

度が高い光源から生み出されます。ライトバンクがない場合でも、このキットに含まれるツールを用いたさまざまな方法で柔らかい光質を作り出すことができます。フロストをバーンドアに取り付けると光質を多少柔らかくできますが、大型の拡散パネル（シルク）を光源フロント部に設置するか、光を白い壁、天井、ボードに反射させると、大幅に光の質が柔らかくなります。そしてやはり、作り出される光質に直接的な影響



ハードライト

を及ぼすのが光源の物理的なサイズです。こうした点を考慮し、照明のセッティングに先駆けてショットやシーンに適した光質を検討するのが理想的です。例えば、屋内シーン（4面が白壁で頭上から蛍光灯で照らされたオフィスなど）で自然な光質を得るには、多くの場合はハードライトという選択肢は除外するべきでしょう。



ソフトライト

## ハードライトvs.ソフトライト

硬い光と柔らかい光の使い分けに絶対的なルールは存在しません。特定の光質を作り出すことは主観的な作業で、その方法に正解、不正解はありません。しかし、ハードライト、ソフトライトそれぞれに固有の特性があり、撮影前にはいつでもそれらの良し悪しをよく検討することが重要です。一般的には、硬い光はライトのバーンドアでコントロールしやすく、映画や動画にドラマティックな影と魅力的な照明効果をもたらします。インタビューの照明にハードライトを使う場



ARRILITE

合、カメラ映りを魅力的にするために、光源の位置を慎重に検討する必要があります。フレネルやオープンフェイス照明を誤った位置に設置してしまうと、たとえ被写体がカメラ写りの非常に良い人物であっても、望む結果が得られません。

ARRIのフレネルレンズライトが照射面に投じる光は非常に均一なため、ハードライトを必要とするスタジオ撮影やロケーションで最も人気の高い選択肢となっています。

ARRILITEの光も均一ですが、通常は人物を直接照らすためには用いられません。ARRILITEは、壁や天井、反射板（ロケーション撮影時）に反射させてフィルライト光源として最もよく使用されるほか、拡散フロストやライトバンクを通すか、背景部分の照明に用いられます。

照明を被写体に直接当てる場合（拡散素材を使用しない）には、フレネルライトのガラスレンズが放つ

## ハードライトvs.ソフトライト (続き)

やさしい光がオープンフェイスの光質よりも適しています。

柔らかい光質の光源を使用することで、人物のライティングの幅が広がりますが、その一方、ソフトな拡散された光はコントロールが非常に困難です。光は四方に分散します。この特性は一部のショットやシーンには適していますが、無制御に放出された光は最高のショットを台無しにしてしまう可能性もあります。照明は多くの場合視聴者の視線をフレーム周辺に向けさせるため、主光源から漏れた光が背景までも照らしてしまうと、照明の計画性がくずれ、視覚的なインパクトが失われてしまいます。繰り返しになりますが、照明の配置に対する注意深い配慮が、結果を飛躍的に向上させるのです。

ライトバンクを使用する場合、ソフトエッグクレート (LightTools社とDoPChoice社が製造) と呼ばれる製品を用いて拡散された光のコントロールが可能です。

この製品は、ライトバンクのフロント部に素早く装着できる折り畳み式の布製エッグクレートです。ライトバンク上でエッグクレートを使用すると、光の損失を最小限に抑えながら、即座に光の漏れを制御することができます。



ライトバンクに装着したソフトエッグクレート

## 光源の明るさ

撮影に用いる光源の明るさの選択は重要な決定事項です。必ずしも明るければ良いというわけではありません。ライティングを始める度に、被写界深度 (絞り値 = 焦点深度) とカメラの絞り値を注意深く決定する必要があります。

最新のデジタルカメラの多くは非常に高い光感度を備えているため、光量が高すぎる照明で撮影すると、適切な露出を保つためにアイリスを絞り、より深い絞り値 (F8~F11) を選ばざるを得なくなります。その結果、焦点範囲 (被写界深度) が深くなります。小型で光量の低いライトを用いると、アイリス値F2.0~F2.8で良好な露出を得ることができます。絞りをオープン (オープンアイリス) にして撮影すると被写界深度が浅くなり、特定の対象にのみ焦点を合わせることができます。この手法は映像制作のクリエイティブなツールとして活躍します。

さらに、ARRIタングステンライトに低ワット数の電球を使用し、ランプの出力を抑える方法もあります。例えば、ARRI 650フレネルライトは650W以外に500Wと300Wのランプも使用可能です。この方法で、大型のフレネルライトならではの広い照射範囲を保ちながら、低光量の照明を得ることができます。ARRIのLED照明では光の絞り込みは非常に簡単かつ効果的で、他の光源に比べてはるかに低い光量まで絞ることができます。最新のカメラを使う低光量撮影には、ARRIフレネル150Wのような非常に小さいライトの使用も可能です。

正しいライティングテクニックを用いて浅い被写界深度で撮影することで、デジタルカメラで撮影した映像にフィルムの雰囲気を加えることができます。

## 色について

ARRIキットに含まれるタングステンライトの色は、ケルビン温度尺度で3,200Kです。これらのライトが発する光は動画や映画では白色に見えますが、実際にはデイライトの色と比べてかなり暖かい色です。タングステンライトで照明する場合、タングステンフィルムを使用するか、デジタルカメラをタングステン（3,200K）に合わせて設定すると、適切な演色性が得られます。カメラのホワイトバランスを調整する際には、被写体エリアを照らす照明に合わせて調整するように注意します。適切なホワイトバランスにより、動画作品で正確なスキントーンを表現できます。周辺の光や既存の照明で撮影する機会がある場合、そうした光や照明の色がARRIキットのタングステン灯体と大きく異なることがあります。オフィスの蛍光灯、店舗や工場の業務用照明、また周辺の光の色はどれも、タングステンライトとはまったく異なる色の光を放ちます。

こうしたケースでは、撮影シーンの周辺の光にマッチするように照明の色を補正する必要があります。

ARRIのライトは、バンドアに直接装着可能なフィルターを用いてカラー補正できます。ただし、フィルターを使用すると出力光量が大きく低下する点に注意してください（フルCTB/デイライト補正フィルターは85%もの光量をカットします）。また、フィルターを灯体のランプやレンズに近づけすぎると溶けてしまうこともあります。カラー補正フィルターを慎重に使用して、光を自在にコントロールし、撮影シーンの既



存光の色に正確に合わせることができます。ARRIのLED照明を使うとカラー補正がより簡単です。LシリーズとSkyPanelは2,800~10,000Kの範囲で色調整が可能で、あらゆるシーンに対応可能な完全な色温度コントロールを提供します。

デイライト撮影専用に設計されたライトを追加して、現在の照明セットを補強したい場合には、世界中の映画や動画制作で日々使用されているARRIのHMI照明（デイライトバランス）が最適です。より詳しい情報

は、お近くのARRI機材取扱い業者にお問い合わせいただくか、ARRIのウェブサイト（[www.arri.com](http://www.arri.com)）をご参照ください。

## 基本定義

### 4つの主要光源：キーライト、フィルライト、セパレーションライト、背景ライト

この章では、人物の顔の撮影を例に、映像撮影の『照明の展開』における4つの主要光源のそれぞれの照明効果を具体的に説明します。

#### キーライト

キーライトは、被写体を照らす上で主となる光源です。ショットやシーンにおいてキーライトが最も多くの照度を提供し、ハードライト、ソフトライトといった光質を確定します。インタビュー撮影の照明でのキーライトの役割は、人物を魅力的に照らし、影を作ることで人物の輪郭を浮かび上がらせる（立体感表現）ことです。ARRIのフレネルライトは、その使いやすさと光の制御のしやすさから、キーライトとしてよく使用されます。ライトバンクもインタビューで人気のキーライト光源として活躍しています。



キーライトのみ

キーライトの位置は望む演出効果次第で、カメラの真上の場合もあれば、被写体の真後ろに設置する場合もあります。被写体の顔に写る影に注目して、キーライトの最も適した高さや位置を決定します。複数カメラでの撮影の場合は、各被写体のクローズアップカメラの位置に応じてキーライトを配置すると、最大限の効



キーライトとフィルライト

果を引き出すことができます。どのような光質の場合でも、印象的な照明効果を期待するならば、キーライト光源からの光が被写体エリアだけを照らすように調整することが重要です。逆にあまりインパクトのある効果を望まない場合は、キーライトの光が背景部分に漏れても大きな問題はありません。

#### フィルライト

フィルライトは、キーライトが作る影部分を照らすために追加する光源です。フィルライトは拡散された柔らかな光を放つ大きめの光源が望ましく、影部分を希望の濃度（光量）で照らしつつ、被写体上に新たな別方向の影を作らないのが理想的です。仮に、フィルライトをショットやシーンの周辺光と考え、キーライトを当てた時の視覚的效果を想像してみます。フィルライトが弱いほど、ドラマティックな照明効果が生まれることがわかります。キーライトの光質がハードでもソフトでも、ハードライト光源をフィルライトに用いると被写体に不自然な二重の影が生まれてしまいます。大型のシルク、ライトバンク、高密度の白色拡散素材をバードアに装着するか、白色面（壁、反射板など）に光を反射させることで、自然で効果的なフィルライト光源を作ることができます。1名の人物をクロー

## 4つの主要光源：キーライト、フィルライト、セパレーションライト、背景ライト (続き)

ズアップのみで撮影する場合、キーライト光源から漏れた光を大型の白色反射板にあて、柔らかく影のできないフィルライトとして利用することができます(図参照)。フィルライトの位置は状況により大きく変わりますが、通常はカメラの近くか、キーライト光源の反対側にセットします。

### セパレーションライト (ヘアライト)

セパレーションライト(またはヘアライト)は、被写体を背景から浮き立たせる目的で設置します。セパレーションライトは必ず必要というわけではありませんが、セパレーションライトなしでは被写体が背景にまぎれてしまう可能性があります。また、セパレーションライトにより、被写体の髪の毛に色彩と質感を加えることができます。

セパレーションライトの明るさをキーライト光源と同等に設定するのも1つの方法ですが、実際の現場では、



キーライト、フィルライト、ヘアライト

明るさと位置は被写体の髪の毛の色合いと質感、さらに撮影場所の実用設備(窓、ランプなど)によって決定する必要があります。セパレーションライト光源の位置は、被写体の真後ろ上部から、サイドの輪廓を照らす効果があるフレームラインのすぐ外側までの範囲にセットします。ほぼすべてのライト配置に共通して言えることですが、セパレーションライトの効果もまた、その位置により劇的に変化します。さまざまなライトの性質と配置を試し、好みの効果を発見してください。



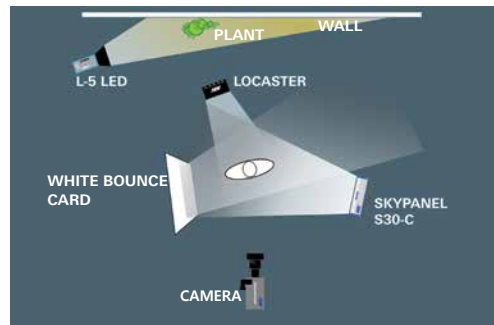
キーライト、フィルライト、ヘアライト、背景ライト(続き)

### 背景ライト

背景ライトを最初にセットするか最後にセットするかは、撮影シーンでの背景照明の重要度と、選択する照明スタイル次第です。被写体エリアに漏れる光を慎重にコントロールすると、背景ライトは大きなインパクトを与えることができます。背景ライトを追加することで質感と色彩が加わり、被写体を背景から浮き立たせることができます。

また、背景ライトの光の方向性が、キーライトの光の行先と出元を補う効果を発揮する場合があります(窓

からの光など)。フレネル、ARRILITEはともに背景エリアを効果的に照らすことができ、すべてのLED灯体も同様に効果的です。





## 立体的コントラストの要素

アーティストたちはこそって、2次元平面上（映画スクリーン、テレビ画面、紙など）で3次元映像を創造しようと努力を続けています。このセクションで紹介する情報は、対象物にあたった光が生み出す3つの個別の要素を認識し、操作するために役立ちます。

### 立体的コントラストの理論

通常、1つの光源を均一な濃度を持つ1つの対象物にあてると、ディフューズドバリュー、鏡面ハイライト、影の3つの異なる濃度が生まれます。この3つの濃度の存在により、対象物の輪郭、形状、質感、濃度、奥行きを明らかになります。

### ディフューズドバリュー

対象物の真の色調または本来の明るさを示します。ディフューズドバリューを正確に再現することで、適切な露出が決定できます。ディフューズドバリューが不変の客観的な要素であるのに対し、影と鏡面ハイライトは変化する主観的な要素です。

### 鏡面ハイライト

対象物の表面に反射する光源の鏡像を示します。鏡面ハイライトは常に対象物の真の色調よりも明るくなります。適切な位置に現れる鏡面ハイライトにより、対象物の輪郭と質感が明確になります。

### 影

立体の対象物上で、主光源からの光があたらないエリアを示します。影は常に対象物の真の色調よりも暗くなります。適切な位置に現れる影により、対象物の輪郭と形状が明確になります。

### 影エッジトランスファー

ディフューズドバリュー部分と影の変わり目を示します。ハード、ソフトの光質は、まずこの部分で判断できます。

### 鏡面エッジトランスファー

ディフューズドバリュー部分と鏡面ハイライトの変わり目を示します。鏡面エッジトランスファーは、対象物の表面の質感を明らかにします。表面が滑らかなほど、境目がシャープになります。

### 一般的な法則

光源のサイズが大きいくほど、光質は柔らかくなります。



## 新たな照明技術

映画やテレビ番組制作の多くの場面で使用されている照明機器は、基本的にはここ何年も変わっていません。フレネルレンズとオープンフェイスの灯体は登場以来、制作の中枢として活躍を続けています。少し遅れて加わったスタジオ用ソフトライトも、照明業界の重要なアイテムです。過去30年以上にわたり、HMIライトと蛍光灯ライトは映画とテレビ番組制作に影響を与え続け、ビジネスの手法を変化させてきました。最近では、LED灯体が新たな照明ツールとしてプロフェッショナルな制作現場で活躍しています。照明機器設計に最新技術を取り入れることで、新たなツールの開発が進んでいます。ARRIの高出力でコンパクトなHMIとLED灯体はその一例です。こうした照明機器は、映画業界で高く評価されているARRIの実績に、また新たな歴史を刻みます。この章では、HMIとLED技術への理解を深めるのに役立つ知識を提供します。また、これらの技術を採用し、制作現場のニーズに対応するように設計されたARRIの照明機器を紹介します。

### HMI®テクノロジー

HMIランプは、石英ガラス管内に水銀蒸気と金属ハロゲン化物を混合して封入し、タングステンコーティングされた2つの電極によるアーク放電によって発光するランプです。HMIの光は太陽光に非常に近い色見が特徴です。白熱電球を使用する従来のタングステンライトとは異なり、HMIはランプヘッドへの電力供給量を調整するバラストを使用し、電力は灯体給電ケーブルを介して供給されます。ARRIのHMIライトは、色温度約5,600Kのデイライト範囲の光を提供する高出力灯体で、125Wから18KWのモデルがラインアップされています。

ここでは、コンパクトなHMI Pocket PARシリーズと、ロケーションやスタジオ撮影に便利な関連キットを紹介します。

### Pocket PAR 125W

ARRI Pocket PARシリーズで最も小型のHMIライトです。クローズアップやスペースに制限があるセットでの撮影に適しています。Pocket PAR 125Wは優れたパワーを備え、直接照明にも間接照明にも重宝する光源です。また、多彩なアクセサリーを使用して、無数の照明デザインを適用できます。



ARRI Pocket PAR 125W



ARRI Pocket PAR 200W



ARRI Pocket PAR 400W

### Pocket PAR 200W & 400W

低熱タイプのPocket PAR 200Wと400Wは、小スペース、クローズアップ撮影や、より厳しい制限のあるセットアップに最適です。両モデルとも優れたパワーを誇り、デイライト環境の直接照明で重要な役割を果たします。シネマ社ライトバンクやランタンとともに使用するほか、反射させてフィルライトとしても活用できます。ARRIの独自設計によるダイクロイック・ガラスカット・リフレクターと、これに好相性のスプレッドレンズにより、あらゆる状況下でも光を最大限にコントロールできます。また、多彩なアクセサリーを使用して、無数の照明デザインを適用できます。

## 新たな照明技術 (続き)

### LEDテクノロジー

白熱光源に代わってLEDライトを用いるメリットは大きく、低い消費電力、長い寿命、より小型で、耐久性と信頼性に優れる点などが挙げられます。一方で、LEDライトの使用には正確な熱管理が必須で、作品に使用する他の照明機材の演色評価数(CRI)を考慮する必要もあります。ARRIのLED Casterシリーズは高出力、低熱、低消費電力の白色光源で、色調整機能も備えています。特殊な光学設計により単一の影を映し出すことができ、広範囲の色温度調整が可能です。Casterシリーズの演色評価数は90で、デジタルやフィルムメディアに鮮明で生き生きとした色を映します。LED Casterは、LoCasterとBroadCasterの2つのバージョンで展開しています。それぞれ、高出力、低電力消費で、ハウジング込みで約900gと軽量です。両モデルとも同一の光学原理を採用し、共通のハウジングを使用します。消費電力は35Wと、省エネ性に非常に優れています。LoCasterは、オンボードコントローラーでパワー、調光、色温度を手動で調整

できます。色温度は2,800K~6,500Kの範囲で調節可能です。LoCaster、BroadCasterとも、複数のAC電源オプションおよび11V~36VのDC電源が利用できます(最適なパフォーマンスには20V~36Vを推奨)。BroadCastの特徴は、DMXプロトコルにより複数のユニットをコンソールで遠隔操作できる点です。オプションのインテンシファイアは、照射角を狭くして(33°)出力を2倍にする優れたアクセサリです。LoCaster、BroadCasterとも、水平方向、垂直方向のどちらのモードでも使用できます。さら



ARRI LoCaster

に、LoCaster LEDライトと、確かな性能が証明済みの小型タングステンフレネルライトをさまざまな構成で組み合わせた「ハイブリッド」キットも複数提供しています。



ARRI ハイブリッドキット

### LシリーズLEDフレネルライト

ARRIのLシリーズは、従来のタングステンフレネルライトとほぼ等しい機能と性能を備えたLEDフレネルライトです。Lシリーズにより、従来のフレネルライトをLEDベースのライトによって完全に置き換えるという、

これまでは不可能だった選択肢を可能にします。Lシリーズの中核となるコンセプトは、調節機能、色の再現性、優れた構造品質、そして使いやすさです。3つのシンプルなたつまみで、輝度、色温度、グリーン/マゼンタ調整を細やかに調整できます。また、ライトの側面にあるフォーカスノブで、従来のライトのように光の広がりを滑らかに調整できます。Lシリーズは、スポットからフラッドへの連続的なフォーカス機能と、滑らかで均一な光というフレネルライトの特性を本当の意味で実現した最初のLEDライトです。LEDテクノロジーのメリットを最大限に生かしたL



ARRI L5 LED

## 新たな照明技術 (続き)

シリーズのライトは、色と明るさの完全なコントロールを可能にしました。Lシリーズの1つ、L7ライトの光は、ブロードキャストとデジタルシネマカメラ撮影に最適となるように調整され、優れたスキントーンと鮮明な演色性を提供します。L7の頑丈な作りと人間工学に基づいた設計は、世界が認めるARRIの品質・設計基準を満たすものです。複数のパワークラスをカバーするLシリーズは、大規模なテレビスタジオから小規模なインタビュー、その中間規模の撮影まで、あらゆる



ARRI L7 LED

条件に対応するソリューションを提供します。L5、L7、L10灯体はそれぞれ、5インチ (137mm)、7インチ (175mm)、10インチ (274mm) のフレネルスタイルのレンズを持ち、タングステン、デイライト、およびフルカラーでの色温度調整が可能なラインアップを揃えています。

### SkyPanel

ARRIの新たなライトSkyPanelは、ひときわ高い汎用性が特徴のLEDソフトライトです。コンパクトなサイズにもかかわらず完全な色調整機能を備え、卓越したパワーと品質を誇ります。撮影状況によって異なる多様な照明ニーズに対応するため、SkyPanelは複数の照明機器から成るシリーズとして構成されています。S60はミッドレンジのモデルとして活躍し、より小型のS30は移動性に重きを置いたモデルでARRIのLEDキットにも含まれています。SkyPanel Cタイプ (カラータイプ) は、2,800K~10,000Kの範囲で相関色温度を調節でき、全範囲で優れた演色性を提供します。シンプルなたま

み操作でプラスマイナスグリーンの完全な調整ができ、さらに、CCTコントロール、ヴィヴィッドカラーの選択、彩度の調整なども可能です。SkyPanelは柔らかな性質の影を生み出し、エッジが重複したり、違和感のある色が表れたりすることはありません。この特性によって、SkyPanelは美しい影を映す最も優れたLEDソフトライトの1つとして、市場におけるポジションを確立しています。SkyPanelのユーザーインターフェースは、非常に優れた操作性・容易性と、幅広い制御範囲を同時に実現します。3つのシンプルなたまみで、色温度、グリーン/マゼンタ調整、輝度、色相、彩度を即座に調整できます。ライトの操作経験がない人でも、SkyPanelのインターフェースを効果的かつ直感的に操作できます。また、オンボードコントロールに加え、DMXまたはLANネットワーク経由で全機能のリモート操作が可能です。



ARRI SkyPanel S30-C

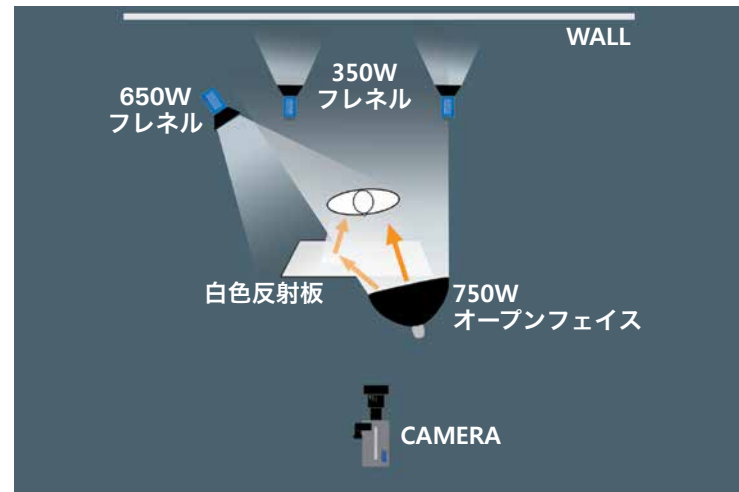


ARRI SkyPanel S60-C

## ライティング・ショーケース



この章では、ARRIライティング・キットをさまざまなスタジオやロケーション撮影で使用する際の基本的なライティングセットアップについて、画像と図を用いて紹介します。



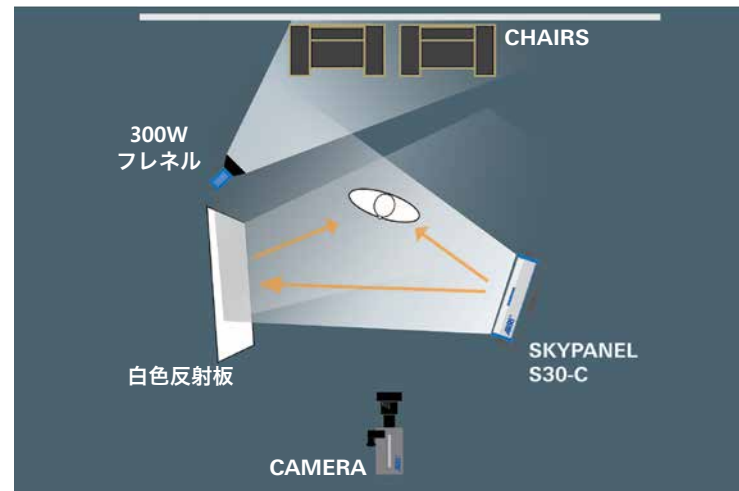
ARRIライティング・キットのツールは非常に多くの異なる状況に対応することができます。左のリンジー（Lindsay）の画像は、ソフトライトとハードライトを組み合わせて使用し、コマーシャルや企業映像に適した優れた効果を生んでいます。

## テクニカルデータ：

- 1 x ARRI 650W フレネル
- 1 x 750W オープンフェイス
- 1 x キメラ社ライトバンク
- 2 x ARRI 300W フレネル
- 1 x 白色反射板



この印象的なレオ (Leo) のインタビューのライティングセットアップは、たった2台のライトだけで構成されています。DoPChoice社のSnapGridをSkyPanel S30-Cに装着して、白壁から背景に漏れる光をコントロールしています。



テクニカルデータ：  
1 x ARRI SkyPanel S30-C  
1 x ARRI 300W フレネル  
1 x 白色反射板  
1 x DoPChoice SnapGrid



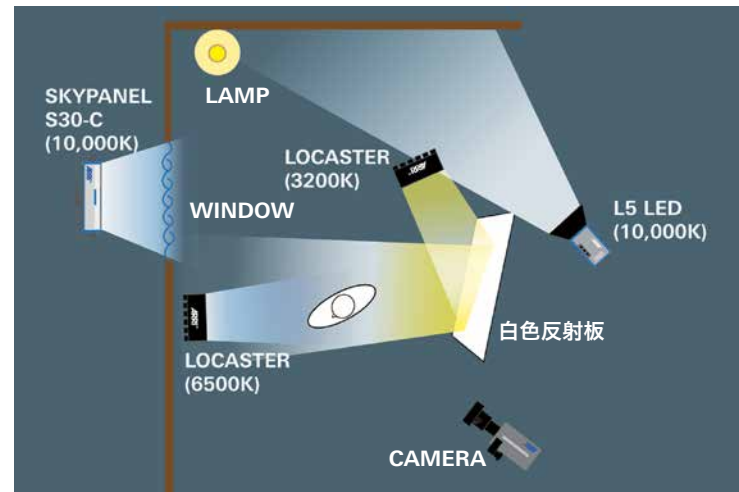
既存のライトのみを使用してもある程度良好な結果を期待できますが、被写体の顔と目にほんの少しの光をプラスすると、一段と優れた効果が得られます。このキャリア（Carie）の画像は、2台のARRI LoCasterを横に並べ、デイライトバランスのフィルライト光源として使用しています。



テクニカルデータ：  
2 x ARRI LoCaster



心地よい「月明かり」の画像は、スタジオ内でLEDライトのみを使用してセットアップされています。SkyPanel S30-CとL5が月明かりの効果を生み、異なる色温度に設定した2台のLoCasterでアリ（Ali）を照らし、リアルな夕方の光を演出しています。

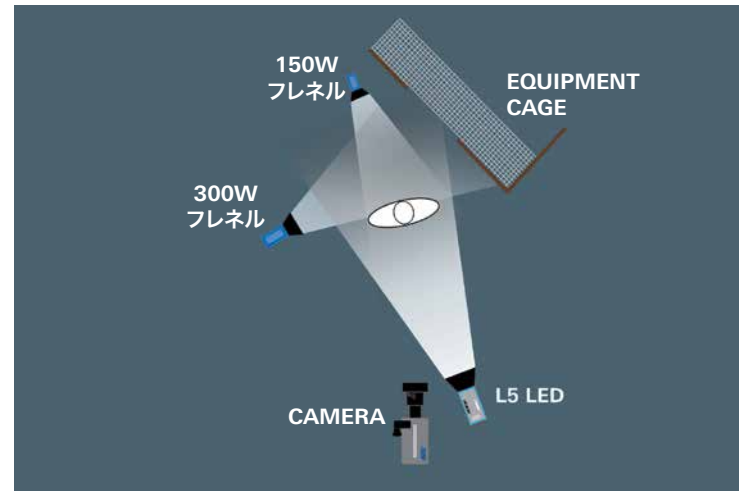


テクニカルデータ：  
 2 x ARRI LoCaster  
 1 x ARRI SkyPanel S30-C  
 1 x ARRI L5 LED  
 1 x 白色反射板





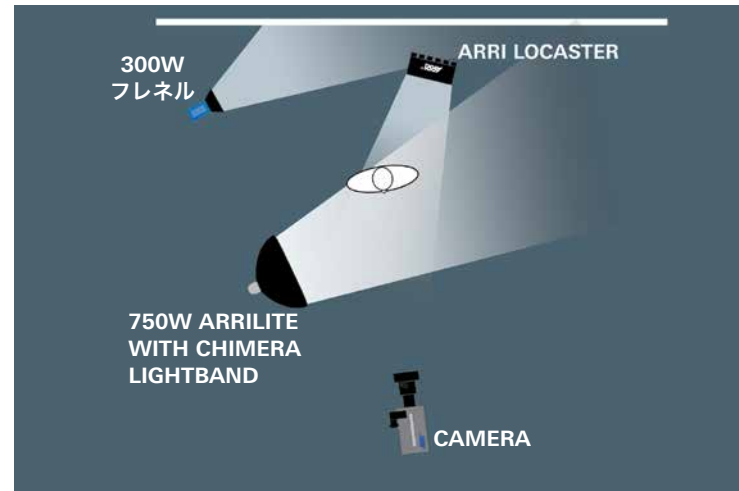
リアリティ番組やインタビューの照明には多くの演出方法があります。  
このジャマー（Jamar）の画像は、暗いスキントーンの場合でもハードライトを効果的に使う方法の一例です。



テクニカルデータ：  
1 x ARRI 300W フレネル  
1 x ARRI 150W フレネル  
1 x ARRI L5 LED



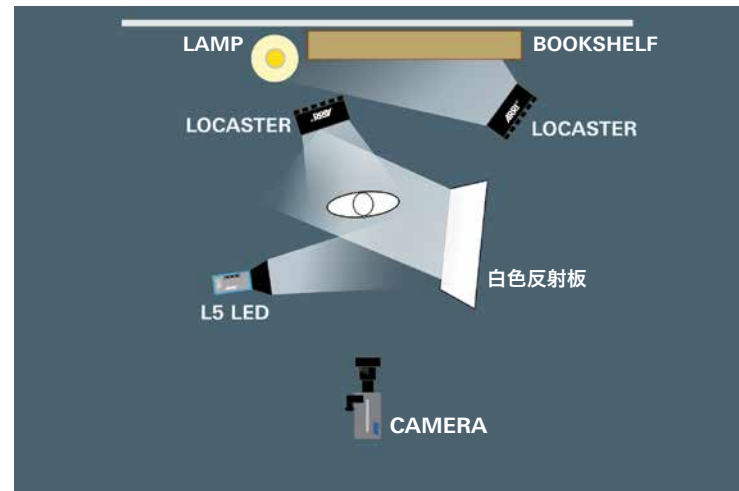
最近、白い背景を用いて明るい光でインタビューを撮影する方法が人気です。このシンプルなセットアップでは、キメラ社ライトバンクのソフトライトを使用し、LEDのヘアライトをクリスチャン（Christian）の頬にあて、300Wタングステンフレネルで背景を照らすことで、清潔感のある効果的なインタビュー空間を作り上げています。



テクニカルデータ：  
 1 x ARRI 300W フレネル  
 1 x ARRI LoCaster  
 1 x 750W ARRILITE  
 1 x キメラ社ライトバンク



顔へのライティングは、被写体のディテールに細やかな注意を払うことが求められる難しい技術です。このセットアップでは、L5 LEDフレネルを使用していますが、光を白色板で反射させ、柔らかく自然なキーライトとして被写体にあてています。

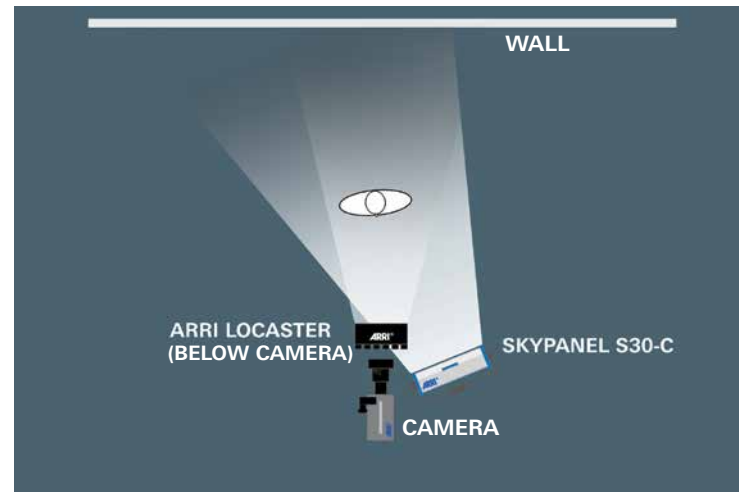


テクニカルデータ：

- 1 x ARRI L5 LED フレネル
- 2 x ARRI LoCaster
- 1 x 白色反射板



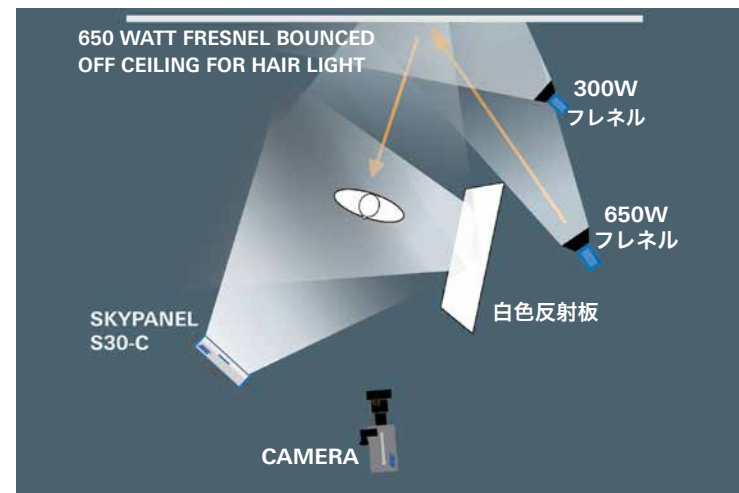
ミュージックビデオやコマーシャルの制作では、短時間で高い技術や知識を投入することが求められるケースがよくあります。ジャマー（Jamar）を被写体とする2台のライトによるシンプルなセットアップは、SkyPanel S30-Cの驚異的な色範囲を駆使して望む効果を得る優れた事例です。



テクニカルデータ：  
1 x ARRI LoCaster  
1 x ARRI SkyPanel S30-C



会社のオフィスなどでのロケーションでは、既存の照明を使うだけでは退屈な印象になる可能性があります。アリ（Ali）を映すこの画像では、LEDとタングステンを併用し、印象的なインタビューの雰囲気演出しています。

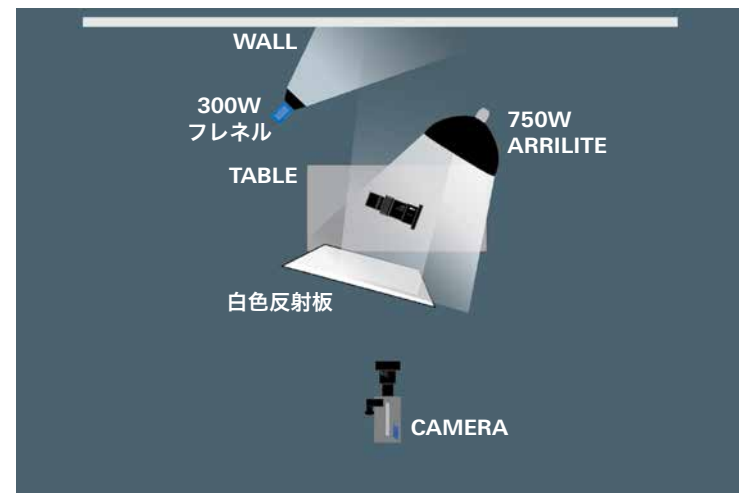


テクニカルデータ：

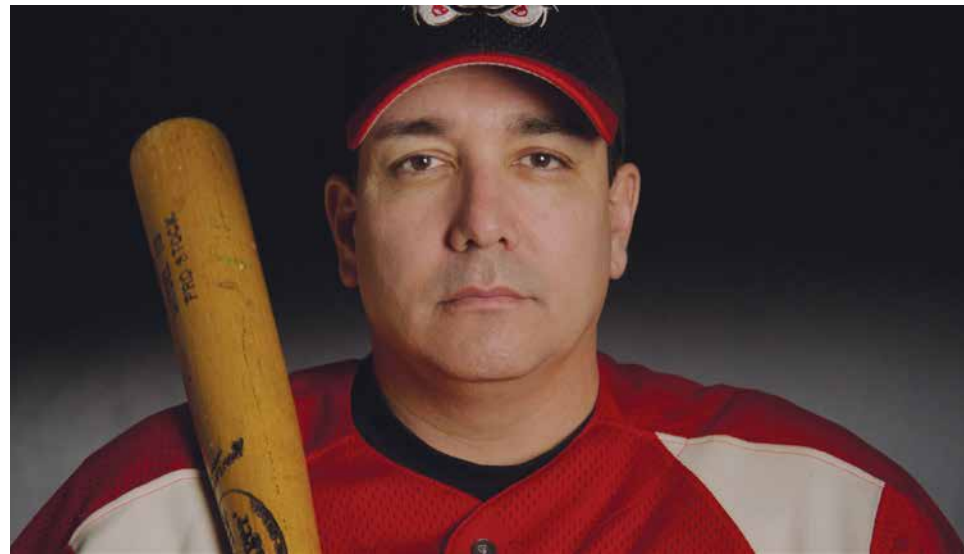
- 1 x ARRI 650W フレネル
- 1 x ARRI 300W フレネル
- 1 x ARRI SkyPanel S30-C
- 1 x 白色反射板



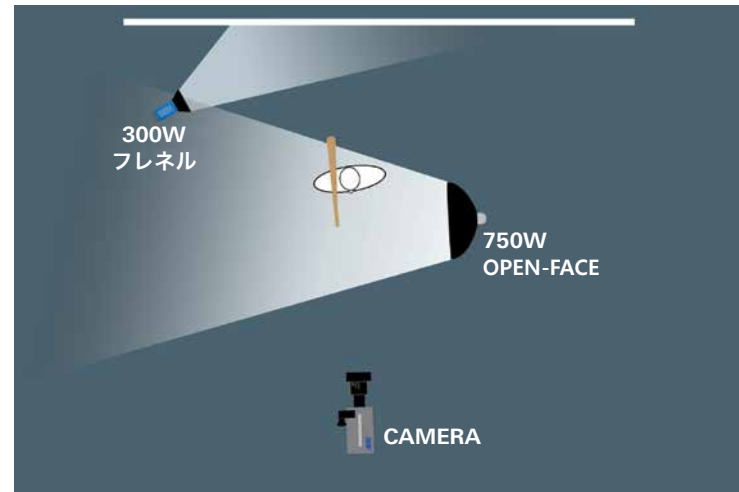
光を反射しやすい黒い製品のライティングは困難です。この画像は、キメラ社ライトバンクと白色反射板を駆使することで、難しい被写体を美しく撮影できる例を示します。



テクニカルデータ：  
 1 x 750W ARRILITE  
 1 x ARRI 300W フレネル  
 1 x キメラ社ライトバンク  
 1 x 白色反射板



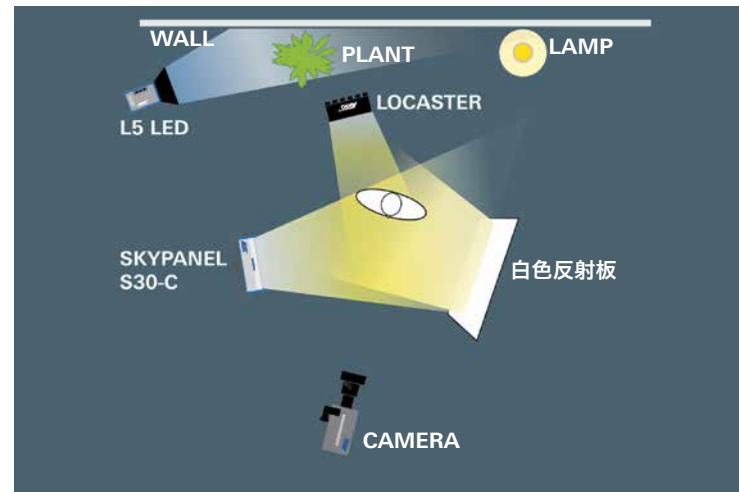
つばのある帽子をかぶった人物のライティングも難しい課題です。大型のソフトライト光源を用いるとどんなタイプの帽子にも対応でき、優れた映像を得られます。クリスチャン（Christian）を映したこの画像は、2台のライトのみで照明されています。



テクニカルデータ：  
1 x 750W ARRILITE  
1 x ARRI 300W フレネル  
1 x キメラ社ライトバンク



ARRIのLEDライトを用いると、光の色でクリエイティブな演出が可能です。このマガリ（Magalie）のインタビューは、夕方に住宅で行われたように見えますが、実際にはスタジオセットで撮影されています。



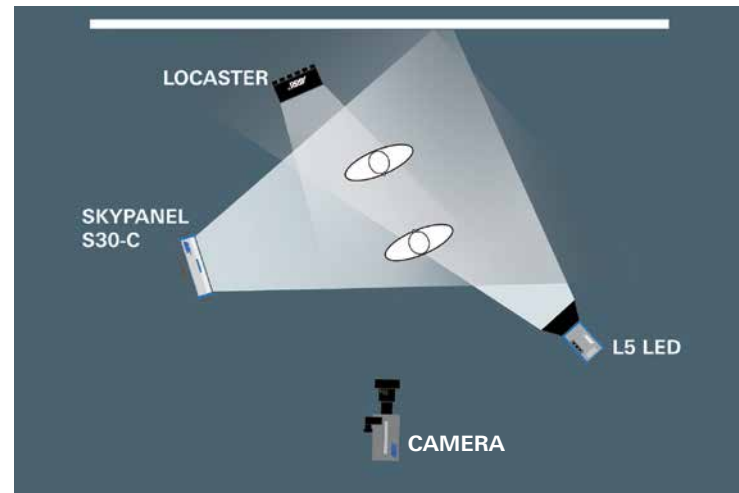
テクニカルデータ：

- 1 x ARRI L5 LED
- 1 x ARRI LoCaster
- 1 x ARRI SkyPanel S30-C
- 1 x 白色反射板





このポーラ（Paula）のインタビューでは、L5 LEDフレネルで被写体と背景の壁を照らしています。スタジオ撮影でもロケーションでも、このシンプルなライティングセットアップは、同じカメラアングルの肩越しとクローズアップ撮影のどちらにおいても効果的です。



テクニカルデータ：

- 1 x ARRI LoCaster
- 1 x ARRI SkyPanel S30-C
- 1 x ARRI L5 LED

## ARRI営業拠点

### Europe, Middle East, Africa, India

#### Arnold & Richter Cine Technik

GmbH & Co. Betriebs KG (Sales & Service)

Ernst-Augustin-Strasse 12, 12489 Berlin, Germany

sales-lighting@arri.de

Tel: +49 (0)30 678 233 0, Fax: +49 (0)30 678 233 99

#### ARRI Italia S.r.l. (Sales & Service)

Viale Edison 318,

20099 Sesto San Giovanni (Milan), Italy

info@arri.it

Tel: +39 02 262 271 75, Fax: +39 02 242 1692

### Americas

#### ARRI Inc./West Coast & Mexico (Sales & Service)

600 North Victory Blvd., Burbank, CA 91502-1639, USA

info@arri.com

Tel: +1 818 841 7070, Fax: +1 818 848 4028

#### ARRI Inc. / East Coast (Sales & Service)

617 Route 303, Blauvelt, NY 10913-1109, USA

info@arri.com

Tel: +1 845 353 1400, Fax: +1 845 425 1250

#### ARRI Inc. / Central & Southern America (Sales)

2385 Stirling Road, Ford Lauderdale, FL 33312, USA

ventas@arri.com

Tel: +1 954 322 4545, Fax: +1 954 322 4188

#### ARRI Canada Limited (Sales & Service)

1200 Aerowood Drive,

Unit 29 Mississauga, Ontario L4W 2S7

info@arri.com

Tel: +1 416 255 3335, Fax: +1 416 255 3399

### Asia

#### ARRI Asia Limited (Sales & Service)

2801-2, Exchange Tower, 33 Wang Chiu Road,

Kowloon Bay, Hong Kong,

info@arriasia.hk

Tel : +852 2571 6288, Fax : +852 2875 9181

#### ARRI China (Beijing) Co. Ltd. (Sales & Service)

Chaowai SOHO Tower C, 6/F, 0628/0656

Chaowai Dajie Yi 6, Beijing, China

store@arri.cn

Tel : +86 10 59009680, Fax : +86 10 59009679

### Australia / New Zealand

#### ARRI Australia Pty Ltd (Sales & Service)

Level 1, Unit 1, 706 Mowbray Road,

Lane Cove NSW 2066, Sydney, Australia

info@arri.com.au

Tel: +61 2 9855 4300, Fax: +61 2 9855 4301

## ARRI営業拠点

地域	営業時間	サービスセンター	Eメール	ホットライン電話番号
1	月曜日 - 木曜日: 7:00 - 17:00 (CET) 金曜日: 7:00 - 15:00 (CET)	ドイツ、シュテファンスキルヒェン Arnold & Richter Cine Technik	service-lighting@arri.de	+49 (0)8036 3009 3009
2	月曜日～金曜日: 09:00 - 17:30 (EST)	米国、ニューヨーク ARRI Inc. East Coast	service-lighting@arri.com	+1 845 353 1400
	月曜日～金曜日: 08:30 - 17:15 (PST)	米国、バーバンク ARRI Inc. West Coast	service-lighting@arri.com	+1 818 841 7070
3	月曜日～金曜日: 09:00 - 18:00 (HKT)	中国、香港 ARRI Asia Limited	service@arriasia.hk	+852 2537 4266
	月曜日～金曜日: 09:00 - 18:00 (CST)	中国、北京 ARRI China (Beijing) Co. Ltd.	service@arri.cn	+86 5900 9680
	月曜日～金曜日: 08:00 - 17:00 (AEST)	オーストラリア、シドニー ARRI Australia Pty Limited	service-lighting@arri.com.au	+61 2 9855 4305

This ARRI Lighting Handbook (Ident.-Nr.: L5.0010196) is published by Arnold & Richter Cine Technik, April 2016 © ARRI/2016.  
 Technical data and offerings are subject to change without notice. All rights reserved. Without any warranty. Not binding 04/2016.  
 ARRI is a registered trademark of Arnold & Richter Cine Technik GmbH & Co. Betriebs KG.

## Zone 2 - Americas

Burbank ● New York ●

## Zone 1 - EMEA

● Stephanskirchen

## Zone 3 - Asia Pacific

● Beijing

● Hong Kong

● Sydney



[www.arri.com](http://www.arri.com)

**ARRI** 